

1 単元 わたしたちの生活と食料生産

2 指導計画（23時間完了）

- | | |
|-----------------------|---|
| (1) 暮らしを支える食料生産・・・4時間 | <ul style="list-style-type: none"> — 問題や工夫について考えをもつ…………… 1時間 — 工夫は十分か立場を決める…………… 1時間 — 食料生産の在り方を考える…………… 1時間(本時) — 食料自給率を高める取り組みを考える… 1時間 |
| (2) 米づくりのさかんな地域・・・8時間 | |
| (3) 水産業のさかんな地域・・・7時間 | |
| (4) これからの食料生産・・・4時間 | |

3 本時の指導

(1) 目標

食料生産の問題について調べた情報を基に、日本の今後の食料生産の在り方を考えることができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

食料生産の工夫や努力について自分の考えをもち、異なる立場で考えを交流することで、自分の考えを深めることができる。

(3) 準備 教師：タブレットPC、電子黒板、ワークシート

児童：タブレットPC（一人一台）、前時までに書き溜めたワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに考えた「日本の食料生産の工夫は十分か」について、考えを交流させることを確認する。 ○ 前時までに作成した「整理シート」を掲示して、米づくりと水産業の工夫や努力を確認させる。
13分	2 自分の考えた立場とその理由を、タブレットPCに表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ タブレットPCの画面の背景を4色から選べるようにし、十分（青色）・やや十分（水色）・やや十分でない（桃色）・十分でない（赤色）」の4段階の立場を視覚的に捉えやすくする。 ○ 選んだ画面に、その立場の理由を書き込む。 ○ 児童の画面を電子黒板に一斉表示する。
17分 (7分)	3 考えを比較する。 (1) 異なる立場の児童と話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体の色の傾向から、学級の意識の傾向をつかませる。 ○ 始めに「十分」の立場を選んだ児童を指名し、そこから相互指名で考えについて発表させる。
(10分)	(2) これからの日本の食料生産について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食料生産の問題を解決するためには、どのような取り組みが必要かについて考えを交流させる。
<p>評価事項</p> <p>食料生産の工夫や努力について自分の考えをもち、異なる立場で考えを交流することで、自分の考えを深めている。 【発言・ワークシートの記述】</p> <p>□…日本の食料生産の問題を振り返らせ、どの問題から解決できそうかを考えさせる。</p> <p>☆…様々な食料生産の問題を解決するために、具体的な案を出して話し合うようにする。</p>		
8分	4 自分の考えを再考する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流した考えを比較し、食料生産の問題を解決するためにはどのような取り組みから行うとよいかを

2分	5 本時の振り返りをする。	<p>再考させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えの比較をした前後で、自分の考えがどう変わったのか、あるいは変わらなかったのか、自己を振り返らせ、はじめの考えに、友達の影響や意見を加えた考えを書かせる。 ○ 終わりの考えを発表し合い、考えが深まったことよさに着目できるようにする。
----	---------------	--

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動